

# 社会福祉施設における 労働安全衛生研修会

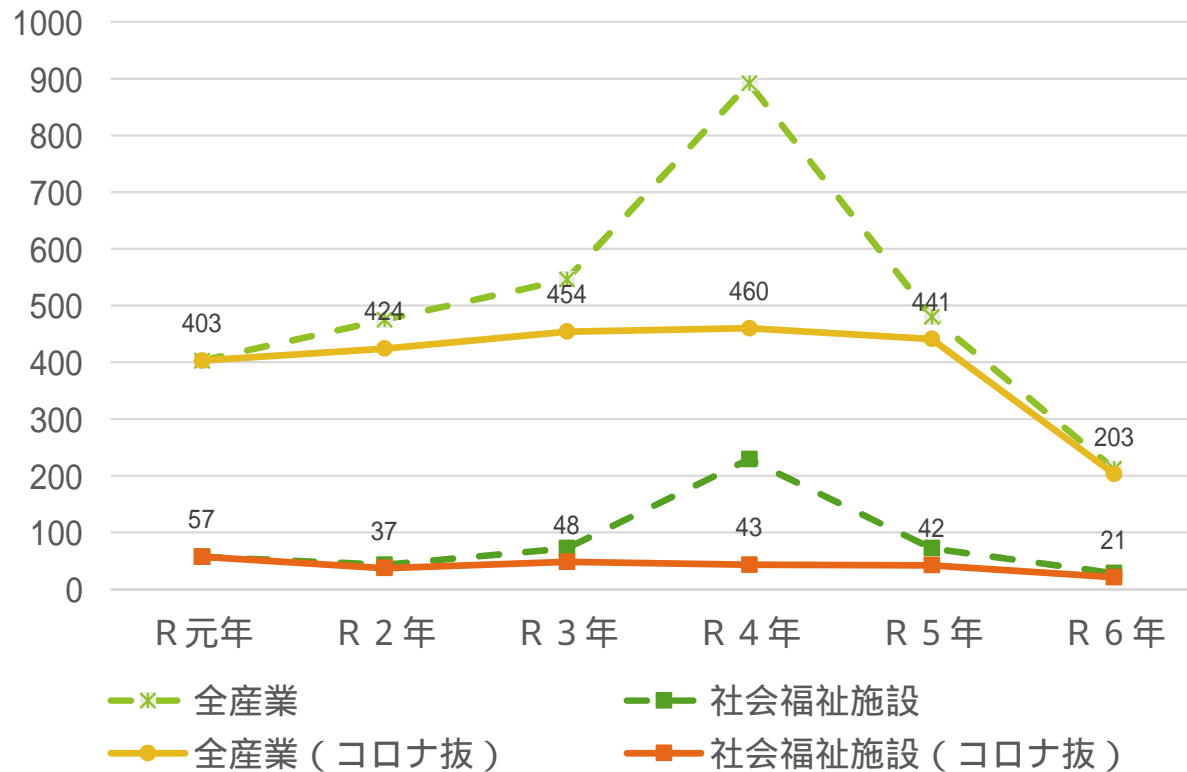
～ 労働災害発生状況 ～

令和6年9月12日(木)  
尼崎労働基準監督署

# 社会福祉施設における労働災害発生状況

尼崎署に提出された労働者死傷病報告（休業4日以上）を集計。

## (1) 労働災害発生状況の推移



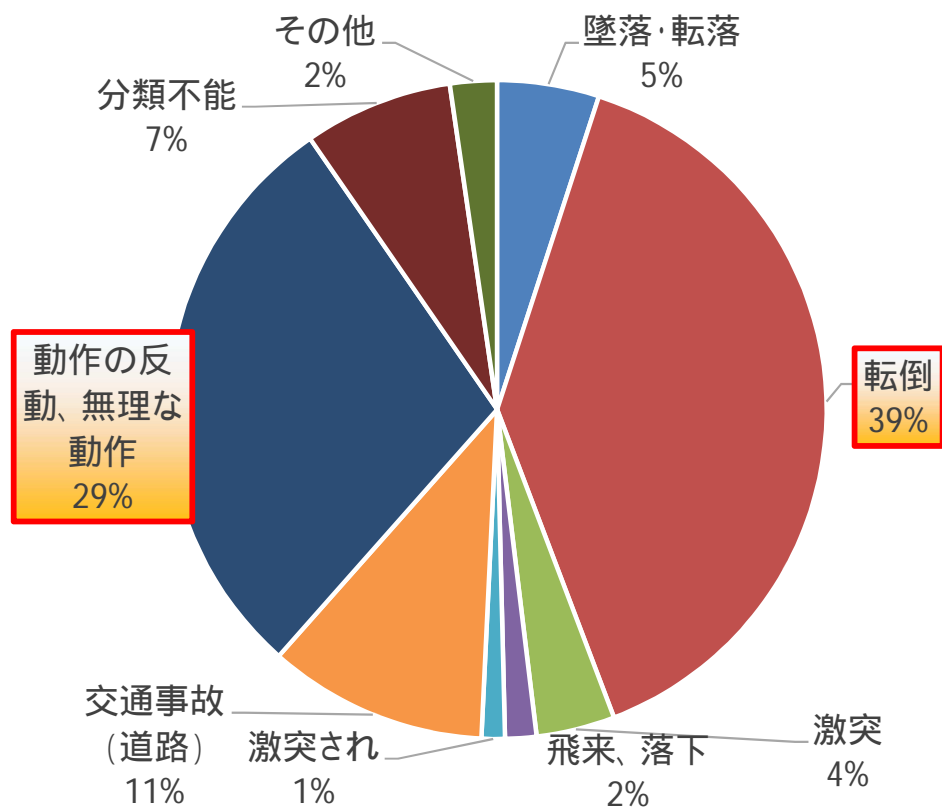
新型コロナ関連を含むため、急増している。  
新型コロナ関連を除くと、R4年までは微増（全産業）。  
社会福祉施設は増減繰り返し。

注) R元年からR5年は確定値。R6年は7月末時点。  
新型コロナ関連を含む。

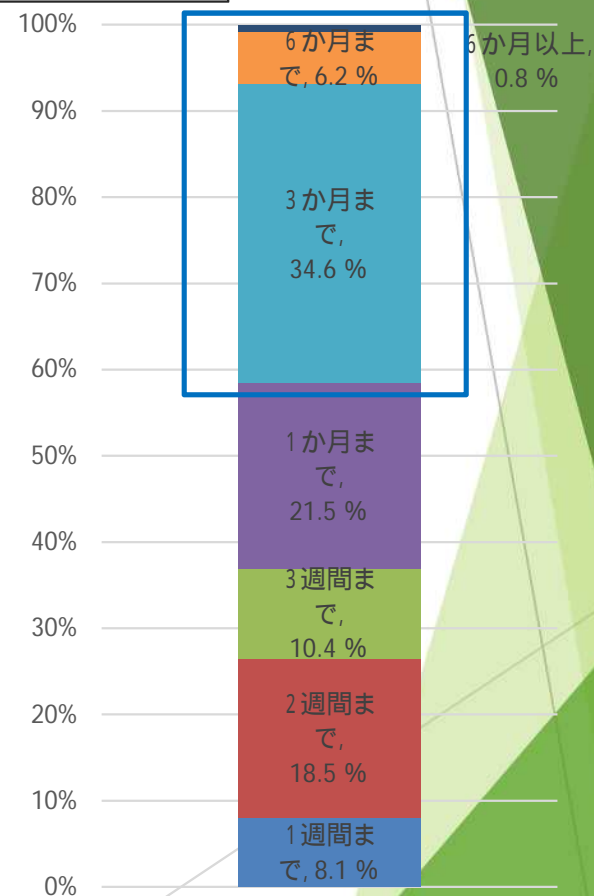
## ( 2 ) 事故の型別と休業見込み日数

平成31年1月1日～令和6年9月2日までの期間に、  
 尼崎署に提出された労働者死傷病報告を集計。(業種：社会福祉施設)  
 (新型コロナ関連を除く260件を集計)

### 事故の型別



### 休業見込み日数



「転倒」と「動作の反動、無理な動作」で7割近くを占める。  
 注) 「動作の反動、無理な動作」は、腰痛や筋を違えたものなど。

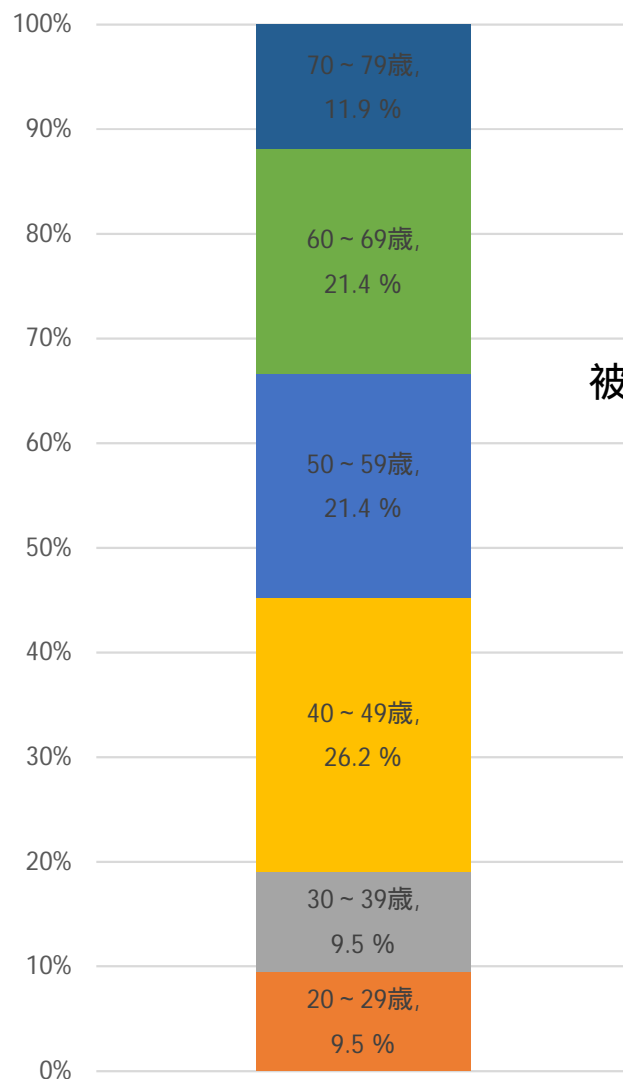
休業期間が長くなる傾向である。

### ( 3 ) 被災者の年齢

尼崎署に提出された労働者死傷病報告を集計。

( 令和5年分。業種：社会福祉施設 )

( 新型コロナ関連を除く42件を集計 )

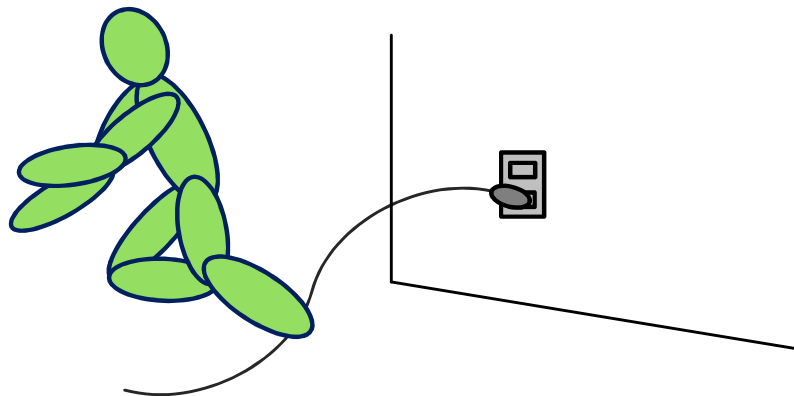


被災者の年齢は、高年齢になっている。

## 災害事例 1

介助のため訪れた利用者居室内で、  
歩行中にコードに引っ掛かり、転倒した。

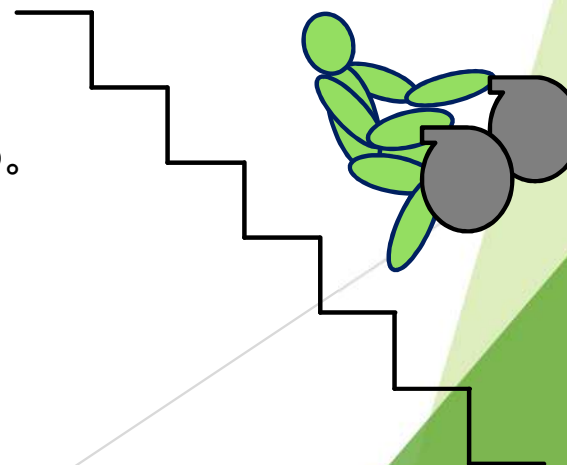
慣れない場所での作業であることに留意しましょう。  
KYT等で、災害の危険に対する感受性を高めましょう。



## 災害事例 2

両手に荷物を持って、駆け降りたところ、  
足を踏み外して滑り落ちた。

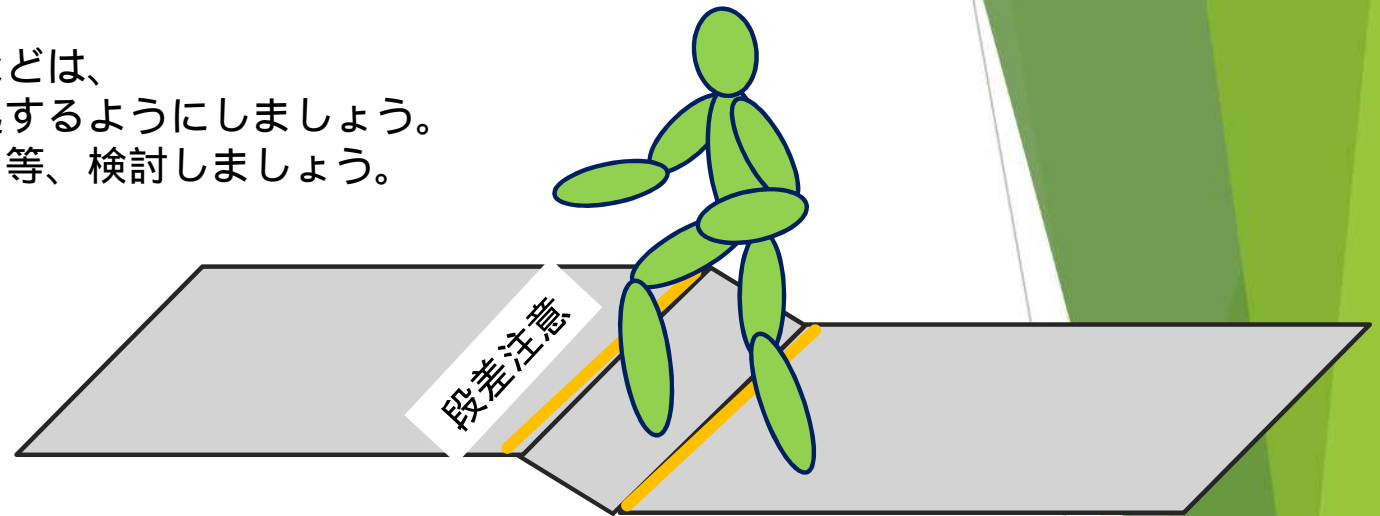
走らずに降りましょう。急ぐ時ほど手順を守って。  
手すりを持てるように、荷物は片手までにしましょう。



### 災害事例 3

施設内の通路を歩いている、段差を乗り越えられず、転倒した。

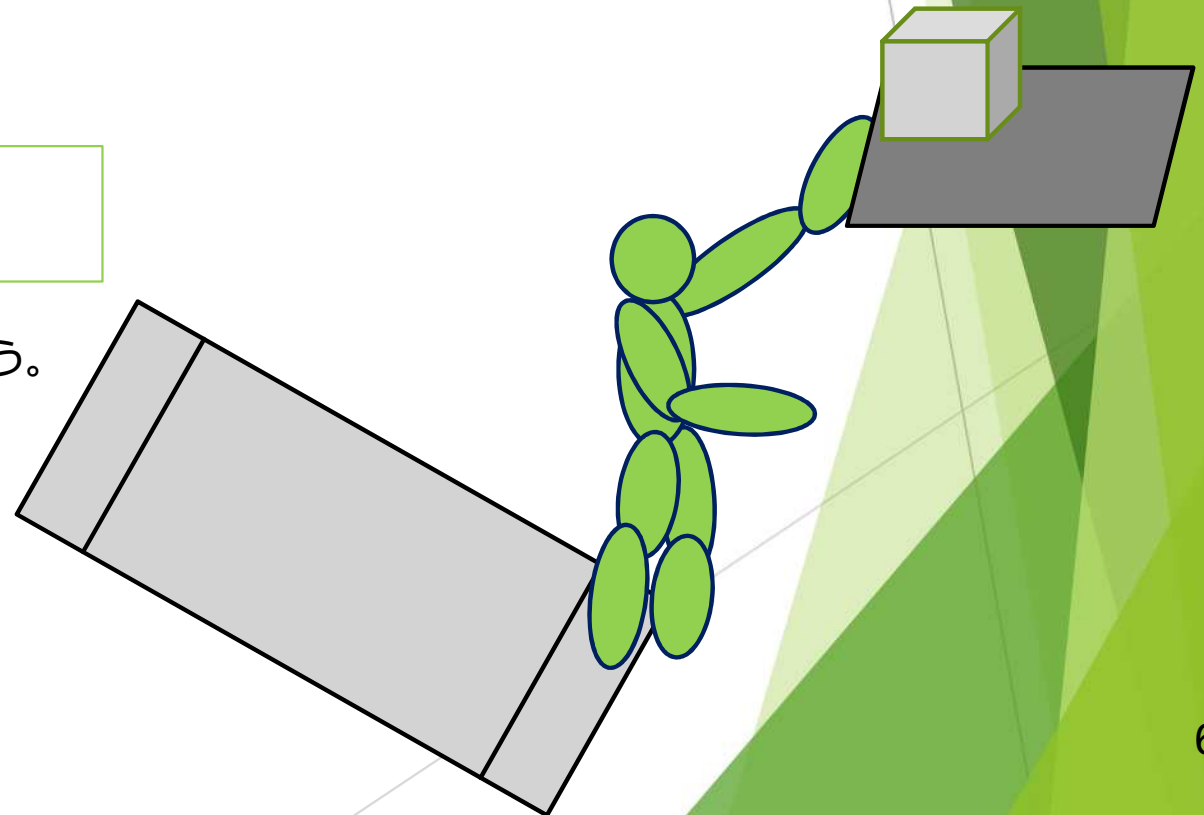
転倒のおそれのある場所などは、目立たせたり、注意を喚起するようにしましょう。仕事始めに準備体操をする等、検討しましょう。



### 災害事例 4

棚の物品を取ろうとしていて、シートに足がとられ転倒した。

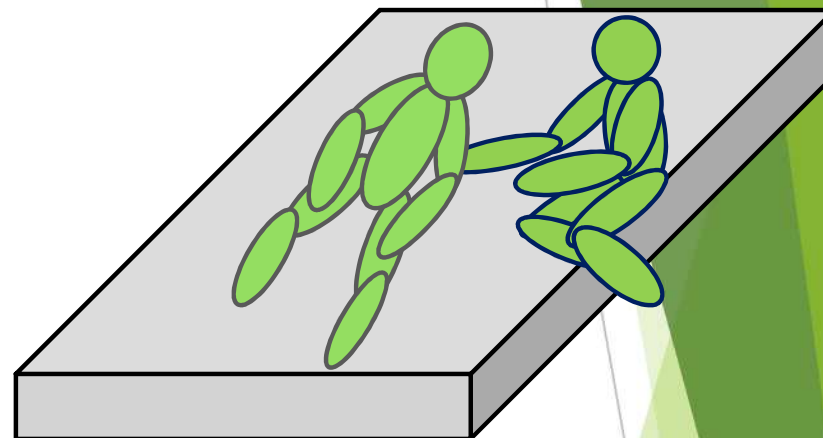
バックヤード等も整理整頓しましょう。無理な体制で取ろうとせず、踏み台などを使うようにしましょう。



## 災害事例 5

ベッドの上の利用者の位置調整のため、身体をずらそうとしたときに、腰を痛めた。

体勢の変え方など、  
職員の身体にも負担のかからない方法を検討しましょう。



## 災害事例 6

職員2人で、利用者を両側から抱きかかえて持ち上げようとしたところ、タイミングが合わず、腰を痛めた。

声で合図をする等、  
呼吸を合わせるようにしましょう。

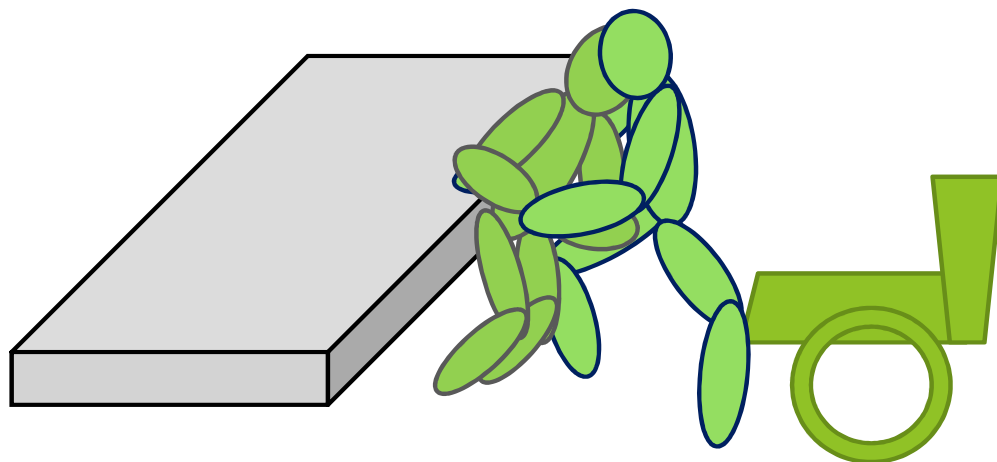


## 災害事例 7

ベッドから車イスへの移乗介助の際に、利用者がバランスを崩したので、とっさに無理な姿勢で支えたところ、介助者が腰を痛めた。

腰痛等を予防する介助方法等を、定期的に復習する。

車いすへの移乗の際の留意点：前傾姿勢にさせる、軸足の位置、重心移動 等

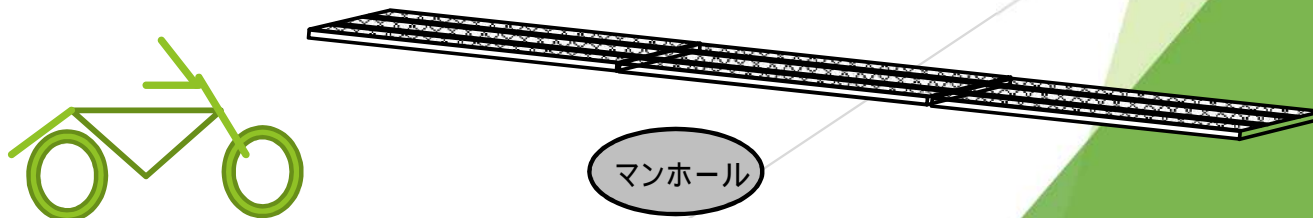


## 災害事例 8

訪問先へ自転車で移動する際に、自転車のタイヤがマンホールで滑って、自転車ごと転倒した。

マンホールや側溝のフタは滑りやすいので載らないようにする。

職員からヒヤリハットを収集して、地図に注意場所を書き込み、周辺の交通事故等防止マップを作成してもよいです。

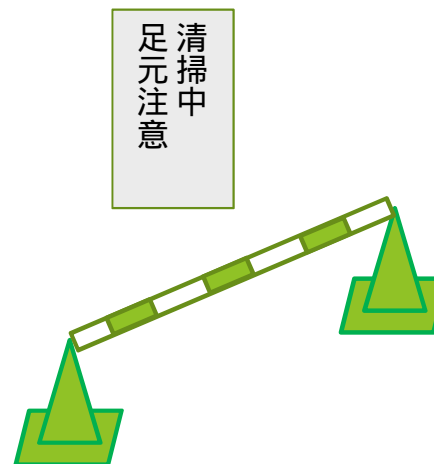
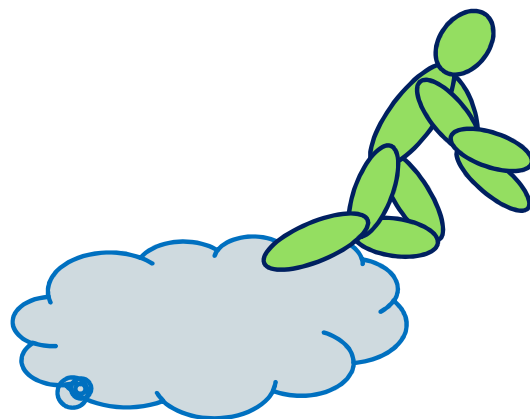




## 災害事例 9

事業場内、掃除場所が濡れていたが、気づかず歩行して、転倒した。

濡れた箇所はふき取る。  
足元注意等の掲示をする。



# 転倒防止

## 転倒予防

あなた

あなたの転倒予防はどこから？  
転ばない知恵と工夫を出しあって、  
あなたも職場の仲間もケガ  
しないよう転倒予防活動に参加  
しましょう。

### 1 安全の第一歩

4S  
(整理・整頓・  
清掃・清潔) ヨシ！



4Sは安全確保の基本です。ムダ  
を省き、キレイを維持すると異常に  
も気が付きやすくなります。

### 2 あなたの靴なら 転倒しない？



有効な靴を履くと、つま先が上が  
りやすく、すり足しにくくなるなど、  
あなたの動きも変わります。

### 3 見える化には目に 飛び込んでくる工夫を



人は問題が目飛び込んでくれ  
ば行動を起こします。  
わかりやすいモノを見やすい場  
所に表示しましょう！

### 4 「# 転倒災害は労働災害です」をつけて ひろめよう転倒予防

※ 投稿・閲覧イメージ動画を配信しています。



転倒災害は労働災害です 検索



SNSで好事例やヒヤリハットを発信し、  
転倒予防の情報を共有しませんか。  
あなたの発信が、たぶん誰かの為に  
なります。

### 5 高齢になると脚力 から衰えます。

エイジフレンドリー  
ガイドラインを見て  
できることやりまっせ。



意思と体の動きにギャップを感じ  
たことはありませんか。  
ガイドラインには、労働者が取り  
組む事項も定めています。

### 6 ヒヤリハットを 事故の予防に！



あなたがヒヤリとしたことは、  
他の人も感じたことがあるはず。  
誰かがケガをする前に、対策を  
打っておきましょう。

### 7 「見える」安全活動 コンクール優良事例



「あんぜんプロジェクト」には安全  
活動の優良事例を掲載しています！  
※同サイトは「あんぜんプロジェクト」  
から「SAFEコンソーシアム」に移行します。

# 腰痛予防

## ○腰痛の発生に關与する要因の把握

要 因	内 容
介護・看護される側（対象者）の要因	必要な介助の内容、対象者自身でできること、認知症の程度、体重など
労働者の要因	経験年数、身長・体重、筋力、介護技術など
福祉用具（機器、補助具）の状況	適切な機能を備えたものが必要な数量あるか
作業姿勢・動作の要因	抱え上げ、不自然な姿勢、不安定な姿勢など
作業環境の要因	温度、照明、床面、作業スペースなど
実施体制	適正な作業人数・配置か、協力体制、交代制勤務の回数・シフトなど
心理・社会的要因	対人関係によるストレス、仕事の忙しさ、介護技術の悩みなど

## ○リスクの回避・低減措置の検討、実施

リスクの大きさや緊急性などを考慮して、リスク回避・低減措置の優先度を判断しつつ、次に掲げるような、腰痛の発生要因に的確に対処できる対策の内容を決定する。

検討事項	内 容
対象者自身でできることの活用	対象者の協力を得た介護、看護方法の選択
福祉用具の利用	対象者の状態に合った福祉用具の積極的な利用
作業姿勢・動作の見直し	リフトやスライディングボード・シートの利用、不自然な姿勢での作業の回避
作業の実施体制	負担の大きい業務が特定の作業者に集中しないよう配慮
作業標準の策定	作業ごとに作成し、対象者別に、手順・福祉用具・人数・役割などを明記
休憩、作業の組合せ	交代で休憩できるよう配慮。他の作業とローテーションも考慮
作業環境の整備	温度・湿度の調整、十分な照明、段差の解消、作業スペースの確保など
健康管理	適切な健康管理による腰痛発生リスクの早期把握、職場復帰時の措置など
労働衛生教育	教育・訓練の定期的な実施。マニュアルの作成・整備

# ご安全に！

## 労働安全衛生の取り組みを 引き続き よろしくお願いします。

労働安全衛生法関連の規則等の一部のみを説明しています。  
本日の内容を取っ掛りとして、勉強していただければ幸いです。

利用者のみならず、職員の安全衛生も、取り組みましょう。